

日 時 : 2013 年 12 月 19 日(木) 13:00 ~ 17:00

場 所 : 塗料報知新聞社 会議室

出席者 : 窪井要((有)久保井塗装工業所)、内山貴識(東和酵素株)、高橋大(株三王)、小泉栄(株小泉塗装工業所)、澤井昌廣(株桂精機製作所)、魚谷英未(日本ワコン株)

議長: 木下真生(ランズバーグ・インダストリー株)

幹事: 平野克己(日本塗装機械工業会)、福田良介(日本パウダーコーティング協同組合)

アドバイザー: 坂井秀也(坂井技術士事務所)、木下稔夫(東京都立産業技術研究センター)

オブザーバー: 田村吉宣(いすゞ自動車株株)

ゲスト: 藤井俊治(株三菱化学テクノリサーチ)、岡田久佳(岡久株)、田辺直(有)タナベ塗工所・愛車館タナベ(有)、稲田健(九州工業塗装協同組合専務理事)、久間寧一(ランズバーグ・インダストリー株)、早川和成(旭硝子株)、井ヶ田幸生(埼玉県環境部大気環境課下川崎市環境局企画・監査担当主査)、上原恵美(東京大学工学部化学システム工学科平尾・杉山研究室、助教・博士)、山岸達矢(東京大学工学部化学システム工学科平尾・杉山研究室)、矢野明子(東京都環境局環境改善部化学物質対策課揮発性有機化合物対策担当係長)、遠藤政男(小橋工業株)、石井勝郎(丸和産業株)、後藤光孝(丸和産業株)、福永奈緒(株野村総合研究所)、櫻井智洋(コーティングメディア)

事務局: 有馬弘純(塗料報知新聞社)

28 名 敬

称略

***** 議 題 *****

25 人を超える参加者が集まった。自己紹介を行い、会議が始まった。

冒頭、平野氏から国際塗装会議の目的と業界の立ち位置について説明があった。

続いて、下記の参加者から発表があった。

◆内山氏

◆木下氏(東京都)

国際工業塗装高度化推進会議の前身である工業塗装高度化協議会における、「中小企業の特定ものづくり基盤技術の高度化に関する指針」への「塗装技術」の追加指定に向けた活動において、塗装技術の定義等をまとめた文章を、木下議長のCEMAの HP に載せたらどうかという提案があったことから、参加者に内容を紹介した。その後、木下氏から掲載にあたり内容を現時点の視点から精査し、その後に掲載としてはとの提案があり了承された。今後会員に、データを送付し1月中までに内容を精査した後、HPに掲載することとした。

中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する「特定ものづくり基盤技術高度化指針改正」に対するパブリックコメントが開始されたこと、また指針案の報告があった。パブリックコメントの締め切りは平成 26 年 1 月 12 日。また、「中小ものづくり高度化法」に関係した平成 26 年度の国の事業計画についても紹介を行った(予算規模は 126 億円)。

有機溶剤中毒予防規則が平成 24 年 5 月に改正されており、有機溶剤の発散防止抑制装置による局所排気装置の特例が制定されていることを紹介。今後の確認が必要だが、この法律により塗装用 VOC 処理装置の性能が向上すれば、屋外へ無排気の循環型塗装施設が許可される可能性があることを示唆。

◆矢野氏

次年度セミナー講師選定について

◆田辺氏

バブリングブースについて進捗状況の報告

◆藤井氏

地下水汚染未然防止セミナー(平成26年1月29日@船橋、1月30日@新橋)およびVOC排出抑制セミナー(2月3日@さいたま新都心、2月10日@千葉市)が紹介された。

地下水汚染セミナーでは、床面被覆材の有害物質の浸透を電子顕微鏡で確認した結果の発表もある。

VOCセミナーでは日本印刷産業連合会の講演にはVOCの見える化のビデオ紹介も行われる予定。

◆平野氏

近畿経済産業局環境リサイクル課の近藤係長とのVOCでの情報交換

「VOCに関して、本局から継続して自主的に取り組むなどの指示があり、VOCの実情を調査し、削減活動に取り組む予定で、1月31日にVOCセミナーを実施する。継続してメルマガで情報発信を行う。また、VOCの影響として光化学スモッグだけでなく、安全面など他の影響も調査する。」

近畿セミナーには塗装業界から「近畿自動車整備組合」を推薦した。

また、産環協などから、中国地方など他地方でも取り組みが行われるとの情報を得た。従って塗装業界も自主的に取り組む必要があり、どのように取り組むかの検討が必要。

◆岡田

2月5日(水)開催の新潟セミナーについて

その他、CEMA シンポジウム、日本塗装技術協会 50 周年記念(田村氏表彰の件も含め)報告

※次回分科会開催予定

第3回環境技術分科会 2014年2月20日(木) 13時 ~ 17時 塗料報知新聞社 会議室

————— 以 上 —————